

(様式1)

## 自己評価票

作成日 平成 24 年 8 月 1 日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873900468		
法人名	大倉商事有限会社		
事業所名	グループホーム愛老	ユニット名	あゆみ
所在地	3000121 茨城県かすみがうら市宍倉3102		
自己評価作成日	平成24年8月1日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>自然豊かなのどかな環境の中に木造平屋建てで、庭も広く門や玄関の施錠も無いので誰でも自由に出入り出来る様になっており、利用者の方々ものんびり生活している。庭には松ノ木、どうだんなどの樹木が植えられ、ホームに居ながら紅葉も楽しめ、裏庭には藤棚があり隣に畑もあり、夏はきゅうり、トマト、なす、とうもろこし、スイカなどを栽培している。季節感を堪能しながら安心して生活している。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	笑顔ある生活空間をモットーに、入居者が地域の一員になれる様つとめ、安心して生活できるよう理念に掲げ共有している。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	社長の自宅近くにホームがあり、近所に住む職員がいたり、近所に住んでいた方が入居されたりしている為自然な交流がなされている。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	特別窓口は設けていないが、随時相談があった時は対応している。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で出た意見等は、職員に伝達してサービス向上に繋がる様努めている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	分からないこと、相談事はその都度対応していただいている。入居者の相談事に親身になって対応してくれている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は玄関の施錠も行はず、自由に出入りできている。身体拘束についても職員が理解し、身体拘束の無いケアに努めている。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待については研修内容を職員に周知して日々のケア声かけ等注意している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現時点で対象者がいない為、活用はされていないが、今後職員に勉強する機会を設けたいと考えている。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退居時には十分な説明をしている。料金改正についても、その都度説明し了解をえている。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族に対しては、面会の際に職員が日頃の様子を伝えたり、家族の要望も聞くようにしている。利用者に対しては日々のコミュニケーションの中で思いをくみ取る様に努めている。契約書、運営規定に外部の窓口を設けたり、介護相談員の派遣も受けている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者が現場に入ることが多いので、日々の職員の様子、意見を聞ける機会が多い。可能な範囲で対応し、現場を無視した運営はなされていない。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の勤務状況（実績、考え方、思い、努力など）は把握している。各自が働きやすい職場環境になる様、努めている。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個々の能力は把握している、職員同士で話し合い、教えあつて質の向上に努めている。施設外の研修に参加させてあげられない現状はあるが、資格を取得する事は推進している。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	改めて同業者との交流の場は設けてはいないが、研修で知り合った人と個人的に交流したり、情報交換したり関係性は出来ている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居して環境が変わることでホームの生活に不安を持っている方が殆どだと思われる。入居前にきちんと状態報告を受け性格、既往歴、生活歴、日課などを把握することで、不安の無い生活を送れるよう支援している。関わる事でより良い関係が築けるよう努めている。話しやすい環境をつくる。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用希望があった時は、家族、本人にホームを見学に来ていただき、家族・本人の困り事、要望を確認した上で、ホームで対応可能な事、困難なことを明確にすることで家族・本人が安心して利用出来る様にしている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用希望時に話を聞いた上でまず何が必要かを話し合い、家族・本人のペースで対応している。可能な範囲で利用者・家族のニーズに応えられるよう対応している。要望があればお試し利用も行っている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は一方的にしてあげているという立場ではなく、出来ることは共に行きお互いが有難うと言える、支えあえる関係性を築ける様に支援している。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の気持ちを理解し、本人とその家族が共に喜びを感じられるよう一緒に支えて行けるような関係作りに努めている。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族以外の面会も自由に行っている。家族や知人が面会に来たときには楽しい時間になるように、面会に来やすい環境を提供することで、今後の関係継続に繋がると考えている。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性を把握した上で協力したり、支えあう気持ちを大切に、楽しいホーム生活を送れる様に支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	逝去による契約終了が多い為、関係性の継続は難しいが、何人かの家族と現在も年賀状のやり取りをしている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員本位に決めてしまうのではなく、安全を考えながらも本人の希望を大切にして、話し合って決めるようにしている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際に生活歴、入居までの経過を把握して、本人の能力を入居によって低下させないように、入居後の家族との連携も図り、日々の生活を支えていく。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活リズムを把握しながら、出来る事、出来なくなってしまった事、現状を把握しながらケアに繋げている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々のケアの中で、利用者の困り事を把握して、家族の要望を聞き職員と話し合いながら現状に即した介護計画を作成出来る様に努めている。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	実践の記録だけではなく、気持ちの変化にも気づき記録に残し、それらを職員で共有して話し合い介護計画に繋げていきたいと考えている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者、家族の要望を聞き職員で話し合いながら、共同生活する上で他利用者に影響が無い程度に対応している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	介護相談員、定期的なボランティア（昔遊び、アニマルセラピー、ハーモニカ演奏）受け入れをしている。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際に家族との話し合いで、かかりつけ医を継続するか否かを決めている。入居後の状態変化により受診が必要な際は家族の意向を聞いてから対応している。家族、病院との連携をすることで、安心して医療を受けられる様支援している。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員がいない為、何かあった時はホームの協力医院に相談している。必要に応じて看護師さんがホームに来て対応していただいたり、適切な受診や看護を受けられる様支援している。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は必ず付き添い、情報提供している。入院中も定期的に面会し経過を把握して退院に備えて病院との情報交換につとめている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態変化、入院、病気発見等の問題が生じた場合には、家族と話し合い、家族、本人の意向を確認した上で、協力医と相談して、ホームで出来る事、出来ない事を明確にして職員間でも話し合い方向性を決めている。終末期における支援は今後必要と認識しているが不安がある。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故、怪我、急変等が生じた場合にはマニュアルに沿って対応している。実践力を身に付けていても実際に自分が冷静に対応出来るかが不安である。状態変化にすぐ気付けるように日々の状態観察は大切である。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な訓練は行っている。近所に住んでいる職員が多く、消防署が近いのも環境的に整っている。実際の災害時には人では必要である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の性格を把握して人格を尊重し接し方、言葉使いに注意している。居室入室の際も必ずノックをしたりプライバシーも配慮している。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の自己決定が出来様、自分の思いが素直に出せる様、日頃からの職員との関係性作りが大切である。
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	共同生活する上である程度の時間は決められているが、その日どうしたいのか聞いてみて、可能な事は対応している。
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者の好みを把握して、こだわりを持っている方が多いので、本人に聞きながら対応している。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の嚙む力に応じておかずを刻んだり、楽しい食事時間になる様支援している。片付け、洗い物してくれる方もおり一緒に行っている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	平日の夕食は配食サービスを利用しており全体的な栄養バランスは保たれている。食事量、水分量はきちんと把握して記録に残し、日々のケアに繋げている。
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアには皆自ら行えている。介助が必要な方には声かけ、見守りしている。又、義歯装着している方は安定剤を使用して食事がおいしく食べられる様支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握して対応している。夜間はオムツでも日中は布パンツにパットでトイレ介助している方もいる。オムツの研修会を開き当て方、使い方を学び利用者に負担の無いように支援している。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェックすることで個々の排泄状況を把握したり、便秘にならない様バランスの良い食事の提供、水分量のチェックしている。それでも便秘症の方にはお薬で対応している。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	共同生活なので入浴日は決めさせてもらっている、順番はトラブルにならない様、公平に入浴している。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣を把握して休みたい時間に休んでもらっている。夜間の睡眠に不安がある方は担当医に相談して眠前薬を処方してもらっている。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師から処方された薬は職員がきちんと管理し服用してもらっている。症状の変化があった時は担当医に相談し改善していただいている。誤薬の無い様常に注意を払っている。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の思いをくみ取り、自分でできる事は自分でやる、を大事にしている。無理の無い様に支援している。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候、体調に考慮しながら近所を散歩したり、希望にそって買い物、外食の時間を作り可能な限り外出支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>共同生活の場である為基本的にホームでの管理をさせてもらっているが、多少のお金は管理している方もいる。使途に関して希望があった時は家族に相談した上で対応している。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話、手紙は自由に行えている。職員もプライバシーに考慮しながら支援している。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>清潔を保ちながら気持ちよく生活出来る様に、季節折々の草花や壁画を飾ったり季節感を味わい、楽しめるように工夫している。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>個々に対応して一人の時間をつくってあげたり、複数で楽しめる場を作ったり利用者のその日の気分をくみ取るようにしている。トラブルの無い様安心して過せるように配慮している。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの物を持ち込んでもらっている。プライバシーを考慮しながら、本人の希望、使いやすさ、安全面なども考え配置している。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個々の出来る事、わかる事を把握して自分で出来る、分かるという気持ちを大切にして安心して行動出来る様動線を確保している。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない